



グランシップマガジン
[ジー] vol. 46

GRANSHIP magazine
● Spring 2010



series わが羅針 第46回

野平 一郎

SPECIAL-2

はじめての歌舞伎

coming soonII

親子で行こう♪ 遊ぼう♪ 楽しもう♪

ゴールデンウィーク グランシップ・ワンダフル

GWは、GW!

次世代を創る顔

詩人 白鳥 央堂

しずおかアーティスト・リレー ②

日本画家 東儀 恭子

村松友視の文化漫遊③

SPECIAL-1

文化を育てるということ。

静岡で楽しむということ。

日本歯科医師会会長
静岡県文化財団・SPAC理事

大久保 満男 × 田村 孝子

グランシップ館長
静岡県文化財団副理事長

詩人 白鳥 央堂

同時代のインディーズ音楽に刺激を受けて
自分もまたインデペンデントな発信を。



しらとり ひさたか

中学2年の時、友人と組んだロックバンドでの曲作りがきっかけで言葉の世界に目を向けるようになる。高校時代、国語の授業で寺山修司の詩と俳句にふれ、詩作を始め、詩のコミュニケーションサイト「現代詩フォーラム」に投稿。武蔵野大学文学部日本語・日本文学科在学中より同人誌「kader0d」に参加し、作品を発表。昨年、第47回現代詩手帖賞受賞。今、最も注目の若手詩人。1987年静岡県静岡市生まれ。

バンドの曲作りで言葉を意識した中学時代。寺山修司の詩や俳句を「カッコいい」と感じた高校時代。ロックに憧れた少年は、やがて詩作にのめり込む。詩作において大事なことは、詩作をしない時間。「湧きあがった言葉から、やがて意味が全く消えてなくなった時に初めて言葉は素材になるんです」昨年、初受賞。第一詩集が待たれるが、大学卒業

から一年、社会に出れば、伝えあう手段として言葉はあり、「日々詩的なものが失われていくのがわかる」と彼。それでもインディーズ音楽の発信のあり方に刺激を受けながら、「自分もまずはインデペンデントなたちで詩をとどけたい」と語る。詩人然とした名は本名。しかし、初受賞も、彼が詩を書いていることも、彼の家族はまだ知らない。



Contents

次代を創る顔④ 2

詩人 白鳥 央堂

しずおかアーティスト・リレー② 3

日本画家 東儀 恭子

SPECIAL-1 特集 4

文化を育てるということ。
静岡で楽しむということ。

日本歯科医師会会長
静岡県文化財団・SPAC理事
大久保 満男 × グランシップ館長
静岡県文化財団副理事長
田村 孝子

coming soon I 10

グランシップ名人会 其の七
橘家圓蔵独演会

series わが羅針 第46回 11

野平 一郎

「音楽は、人間のメッセージ。」

SPECIAL-2 小特集 16

はじめての歌舞伎

グランシップベンクラブ 八木 洋行 (しずおかの文化編集長) 19

coming soon II 20

親子で行こう♪ 遊ぼう♪ 楽しもう♪

ゴールドデンマーク グランシップ・ワンダフル

GWは、GW!

essay 村松友視の文化漫遊⑩ 22

「富士山と次郎長」 画／風鈴丸

information a-go-go 24~30

- 公演情報
- Just Finished!／「グランシップスイングジャズクラブ」
- プレゼント ●友の会のご案内 ●SPAC NEWS ●TOPICS
- TRY GRANSHIP
- SUPPORTER's VIEW READER's VIEW Editor's room



表紙アート●望月 通陽 作品タイトル：『十風五雨』
十日に一度の風と、五日に一度の雨。これが順調な
天候なのと言う。おそらく農耕の立場から出た言葉
なのだろう。植物にとってそれがよいのであれば、つ
まりは人にとってもよいはずで、だからたまには風に
吹かれ、雨に打たれて歩いてみるのも、理に叶った
養生法なのかもしれない。

(2009年1月制作)

しずおか

28

アーティスト・リレー

日本画家
東儀 恭子

次回
プロダクトデザイナー
黒住 政雄さん



「犬草紙 一阿と咩」 2008年 サイズ／H1,000×W1,000cm
素材／和紙に岩絵具・墨・箔

描くときに、思うこと。

身近な、人間味溢れる動物をモチーフとした、擬人化な遊び。

観察。捉えることの楽しさ。生きものを生き生きと。

風刺や世俗的なこと。でも俗に陥ることなく、凛とした空気感を。

可愛さと野性味、温かさと毒っ気。暖味さとシャープさ。

いつもギリギリな狭間を。

トウギ キョウコ●1969年静岡市清水区(旧清水市)に生まれる。県立清水南高美術コース卒業。
東京芸術大学大学院修士課程日本画専攻修了。結婚後、渡辺恭子から東儀恭子に改姓。院展、
個展・グループ展等、多数出展。最近の主な展覧会／2009年：犬草紙一対一図一(松坂屋本店/
名古屋)、一ツカワシモノ(東武百貨店/池袋)。現在 東京在住、日本美術院院友。

文化を育てるということ。 静岡で楽しむということ。

グランシップ開館10周年記念事業を終えて。

1999年春のオープンより丸10年を迎えたグランシップでは、昨年2月から1年をかけて10周年記念事業を多彩に展開してきた。

コンサートあり、展覧会あり、オペラあり、コンペティションあり。

それぞれの企画の狙い、思いはどこにあったのか。そして、結果はどうだったのか。

また、グランシップは今後、この静岡で何を果たそうとしているのか、果たしていくべきなのか。

春まだ浅い二月。顔を合わせたのは、文化・芸術を愛してやまない二人。

静岡文化の仕掛け人による対談が実現した。

『椿姫』の終演後、出演者たちが「いい体験だった」と口々に言っていたことが印象的でした。

大久保 満男



公演だけでなく、魯山人のようにすべてにアート感覚をもった場にしたいと思っています。

田村 孝子





*** 2**
グランシップ静岡能
能「望月」で観世清和・三郎
太親子が、狂言「蝸牛」では
野村萬斎・裕基親子が共演。



*** 1**
雛の宴
五人囃子にスポットをあて、
雅楽と能囃子の楽人による
協演が実現。

グランシップ館長
静岡県文化財団副理事長

日本歯科医師会会長
静岡県文化財団・SPAC理事

田村孝子 × 大久保満男

日本オペラ界に
一石を投じた
鈴木忠志演出の『椿姫』。

田村 グランシップは、昨年2月の『高松宮妃のおひなさま展』に始まり、今年の『静岡の魅力フォトコンテスト』でようやく10周年記念事業のすべてを終えたところでございます。

大久保 忙しくしており、すべてを見ることはできませんでしたが、興味深いものがありました。
田村 おひなさまについては、これまで趣向を変えて毎年展示してまいりましたが、10周年では五人囃子の演奏とはどんなものなのだろうということから、雅楽と能楽による演奏会『雛の宴』*1も開きました。こんなことはたぶん初めてだと思います。

大久保 音楽会というと、なぜか日本は西洋音楽の音楽会になってしまいうんですね。AOIの開館の



際、間宮（芳生）さんとどんなプログラムにしようかと悩みまして。普通ならバツハやモーツァルトをやるのですけれど、思い切ってお寺を開山するときの音楽である声明（しょうみょう）

でいこうと。とてもいい幕開けになりました。

田村 素晴らしい！聞かせて頂きました。私は、公共の文化施設が担うべきものの一つに伝統文化があると思っています。

大久保 本当にそうですね。

田村 『おひなさま展』では香道、魯山人展では茶道と、可能な限り日本文化にふれる機会をつくりたいと。お能はいわゆる観世ゆかりの地でもありますので、ワークショップも含めて開館以来開催してまいりましたが、静岡能ではへ親から子への伝承のテーマのもと、観世の家元親子と狂言の野村萬斎親子揃っての公演となったのです。*2このようなことは東京でもなかなかできないことだと思います。

大久保 東京では壁があっても地方ならできてしまうということがありますね。そういう意味では地方というのは可能性があるのではないかと。

田村 そう思います。それから夏



***4**

オペラ「椿姫」

演出／鈴木忠志 指揮／飯森範親 出演／中丸三千繪(ヴィオレッタ)、佐野成宏(アルフレード)、堀内康雄(ジェルモン)ほか 管弦楽／東京フィルハーモニー交響楽団 振付／金森穰 ダンス／Noism 合唱／藤原歌劇団合唱部
グランシップとSPACの初コラボにより、まったく新しいオペラ作品が誕生した。



***3**

グランシップ音楽の広場

300人の大オーケストラによる真夏の音楽祭。昨年は200人の合唱団も参加し、大きな話題に。

「東京に観に行くから大丈夫ですよ、とおっしゃいますが、
上質な文化が身近にあることが大切だと思っています。」



には2回目となった300人のオーケストラ『グランシップ音楽の広場』*3、冬にはオペラ『椿姫』*4を開催しました。大久保さんはSPACの立ち上げにご尽力された方ですが、『椿姫』はそのSPACと本格的に組んだ初めての作品として、静岡芸術劇場と中ホールとの屏が文字通り開いたわけです。
大久保 鈴木忠志にオペラを演出させると、これは田村さんだから言えたんだと思いますよ。(笑)
鈴木さんが『椿姫』を選んだことについては、“え？”と“ああ…”の両方の思いがありました。

田村 私最初は意外でした。
大久保 それだけにどういう解釈になるのだろうかという興味

を駆り立てられました。結果、とてもいいオペラになりましたね。
田村 ある方が“僕は海外のものしか見ません。でも、あんな風にやっていたのなら日本人のものも観たいと思いました”といってくださったんです。これはうれしい誉め言葉だと思っていますが。
大久保 いや、確かにそれは最高の誉め言葉でしょう。企画も含めて珍しい作品になったと思います。
田村 好みはそれぞれですけど、この静岡でSPACと共同制作した甲斐はあったとつくづく思いました。
大久保 舞台袖から歩いて出てくる瞬間から音楽家であってほしい。けれどもそれを自覚している音楽家は極めて少ないですね。オペラに出る人はある種演劇的な勉強もしているから、普通の演奏家よりは…とは思いますが、それでも演劇家から見たら足りない。それで今回印象深かったのは、終演後、ホワイエで出演者たちが“すごくいい体験だった”と口々に言っていたことです。僕は田村館長の狙いは、鈴木さんの演出によるオペラであるということのほかに、オペラという総合舞台芸術は、こうあってほしいということを感じたかったのだと思うんですね。そして、それはすごく大きなことだと思っています。
田村 そう言っていただけでも嬉しいです。

**グランシップが手本にする
魯山人のあり方。**

大久保 『北大路魯山人展』*5もよかったですね。

田村 同じ時期に東京で魯山人の展覧会がありまして、行方不明になっていた作品が公開されておりましたが、展示としてはグランシップが最高だったと思っています。

大久保 いや、本当にそう思いました。子どもの頃から絵がヘタなわりに美術が好きで、病が高じて自宅をギャラリーにしてしまったほどですが、焼き物の展示というのは難しいんですね。作品として見せながら、焼き物屋さんにならないようにするにはどうするか。そういう意味で“すごい”展覧会でした。今回のテーマ“生活の中の美”の通り、魯山人という人は料理から始まって、住まい方も自分の流儀を貫いた人でしょう。あの人はおそらく自分で全部ろくろを挽いていたわけじゃないんですね。ある方の話では、職人が挽いた後、彼がちよっと手を加えた瞬間にまったく別の作品になるというんです。いわばプロデューサーとしての凄さですね。
田村 その魯山人の作風こそ、私どもが最も望んでいることなのです。つまりすべてにおいてアートの

大久保満男

おおくぼみつお／1967年静岡市内に歯科大久保医院開設。歯科医師として従事の傍ら、静岡の文化の仕掛け人として「子どものためのフレッシュコンサート」「早稲田小劇場を観る会」等の実行委員長を務める。また、自ら企画画廊「ガレリ・ヴォワイアン」を主宰。さらに(財)静岡県舞台芸術センター発足に尽力。静岡音楽館AOIの建設計画にも関わり、静岡音楽館市民会議議長('93～'98年)を務める。(社)静岡県歯科医師会会長('85～'88、'00～'06年)を経て、'06年(社)日本歯科医師会会長就任。静岡県文化財団・SPAC理事



* 6

ハノーファー北ドイツ放送
フィルハーモニー
昨夏、終身名誉指揮者に就任
した大植英次の指揮のもと、マ
ラーの交響曲第9番を演奏。



* 5

北大路魯山人展
何必館・京都現代美術館の協力
により、陶芸から書、篆刻まで、初
公開作を含む約200点を展示。

「答えのわかっている宿題はつまらない。大事なことは、
質をきちんと確保して子どもに与えることなんです。」



感覚を持ちたいと…。立ち居振る舞いも、館内装飾にしても、すべてが美しくあつて欲しい…。いらつしやる方々にとつての魅力は、公演そのものだけではないと思っております。

大久保 おっしゃる通りですね。それと同時に、一つの企画にお客さんが興味をもつて出掛けてくる。その時の満足感も大事ですが、引き続き通つてもらえる場であることも大事ですよ。館としての基本的理念があり、それを軸に多面的に展開されていると、館そのものに魅力を感じられるようになる。そうでなければ好きな音楽家、芸術家が来たときだけに行く館になってしまいますから。そこ

を田村館長は明確に意識して、就任以来、進めてこられていることに僕は敬意を表したいと思っております。

田村 そのように言っていただけなんて光栄です。何しろ静岡にはSPACがありますから、東京では見られない演劇は観られます。でも、それ以外についてはほとんど触れることができないというのが、正直な思いでした。AOIでは、公立の文化施設ではできないことをおやりになつていらつしやいますけれど、予算も含めて限られたものしかできませんよ。

大久保 ええ、室内楽に限られますから。

田村 オーケストラを聴きたいという声が多くあります。でも、残念ながらのグランシップも施設としてオーケストラに最適とはいえません。ですが今、中ホールの音響については可能な限り手を入れております。また、金銭的な問題もありますからウィーン・フィルやベルリン・フィルのような超一流は無理ですが、欧米に多くある地方都市に根付いた、オーケストラを聴くチャンスをするに一度は思っております。実は去年はハノーファー(北ドイツ放送フィルハーモニー)*6を、それもマラーの交響曲第9番だったのです。

大久保 そうでしたかね。僕の記憶ではそれまで静岡にはなかったと

思います。

田村 本当に素晴らしい演奏で、みなさん、来年は何が聴けるかと楽しみにしてくださるようになって。こうした上質な音楽を聴くチャンスをつけていくことも、私どもが果たすべき役割の一つだと思っております。

大久保 公が文化事業をやるなら、民間の市場ベースに乗れないものをやるべきなんです。僕もAOIをやりながら、現代音楽は人が集まらないなど、いろんなことを言われてきました。観客の入りが悪くても、量じゃなくて質の観点で判断することがなかなかできない。行政の仕事は、県民の人に広くサービスすることが基本ですが、文化事業だけは別にしていただかないと日本の文化は育たないと思うんです。経済がこれだけ悪くなれば、会社もメセナの部分から切つていきますから、コストカットに一定レベルのものを提供できるのは、公だけ。そういう意味で全国的に見ても静岡の行政はきちんとやっていると聞いています。

田村 私も静岡がうまくいったら、日本の文化政策も変わるのではないかと。世論調査一つとっても、アートマネジメント研修のあり方にしろ、相当変わってきていることは事実ですので、静岡でやってきていることが日本の起爆剤になることを半分願つてもおります。





***7**
おとみち
静岡最大級にして最強といわれ
る真夏のダンスイベント。世界各
地のダンスカルチャーが集結。

子どもにも提供するものこそ
上質なものでなければ。

田村 さて、今後のグランシップにつ
いてはどう思われますでしょうか。
大久保 県の唯一のホールですから、
厚みのある展開を、とくに子どもの
ためのいい企画を期待しています。
田村 実は日本に欠けるものの一つ
に上質な児童演劇があると思っ
ています。全国で200以上の児童劇
団があるといわれますが、それらは
さまざまな問題から十分な支援が
得られず、存続すら難しく、質の高
いものは本当に少ないと思います。
とくに音、音楽への配慮が足りない
ような気がします。海外の場合は
ピアノやアコーディオン、コントラバ
スなど、ほとんどアコースティックな
楽器で演奏されます。先ほどのオペ
ラの話ではありませんが、あちらの
出演者は、演劇はもちろん、ダンス
も演奏もできる。また、舞台の美的
感覚も素晴らしいです。そして、海
外には当たり前のようにある、児
童演劇のための国際フェスティバル
が日本にはなく、ようやく始まった
のが6年前の沖縄でした。それで今
年、取材したご縁からグランシップ
での公演が決まり、この夏、イタリ
ア、シンパブエ、スウェーデン、カナダの
4カ国の児童演劇（P25参照）を上演
できることになりました。

大久保 それはすごく楽しみです
ね。僕が地元で文化に関わるきつ

かけは、子どもたちに生のオーケス
トラを聴かせたいということだったん
です。静フィルと静岡児童合唱団に
よるコンサートが14年続いたんで
すけれどね。実行委員会としてお母
さんの意見を聞くと、子どもにわか
りやすいものをやろうとする。それ
で半ば強引に現代音楽をやると、
子どもはむしろ食いつきがいいわけ
です。大事なことは、質をきちんと
確保して子どもに与えることなん
ですね。答えのわかっている宿題を
出すのは、極論すれば子どもを馬
鹿にしているようなものです。演劇
にしても、子ども向けだからといっ
て、質を下げていいということには
ならない。子どもというのは僕らが
考えている以上に柔軟ですからね。
田村 そう思います。私どもでは
『おとみち』***7**というヒップホップダ
ンスの祭典を毎年催しています。が、
その子どもたちに去年『音楽の広
場』の中で、300人のオーケスト
ラで「威風堂々」を踊ってもらった
のです。当初、こんな音楽では踊
れないと断られました。

大久保 想像はつきますね。

田村 相当抵抗はありました。が、
それでも最終的に約60人が踊り、
その光景に大人は感動し、終演後、
一番涙していたのが子どもたちでし
た。おそらく子どもたちは生まれて

初めて生のオーケストラを聴いて、
しかも300人もの音を体感しなが
ら踊ったのではないかと思うのです。
大久保 それは本当にすごい経
験だったと思いますよ。

田村 それで異文化に出会うチャン
ス、それも自分の身体を通して体験
する機会の大切さを改めて実感し
ました。よく静岡は非常に恵まれて
いますから、大丈夫ですよ、東京に観
に行きますからって、静岡の皆さんは
すぐにそうおっしゃいます。そうでは
なくて、上質な文化が身近にあると
いうことが大切だと思っております。
大久保 お茶やみかんのように自
然が創ったものも大事ですが、人
間が創ったものとしての文化を大
事にしたいですね。

田村 本場にそう思います。ここは
県立文化施設として広域な役割も
担っております。昨年、「文化情報
センター」も立ち上げました。アー
トマネージメントの人材育成や財政
的な支援のほか、アウトリーチとい
いまして出前のコンサートやワーク
ショップも展開しております。

大久保 県がこれだけ広域ですと、
ここまで出掛けて来れる人というの
は限られてしまいますからね。そう
したこまやかな活動も含めて、今後
に注目してまいりたいと思います。
田村 ご期待にお応えできるよう
努力してまいりますのでよろし
くお願いいたします。



今こそメガネ芸人なる言葉もあるようだが、半世紀前、メガネをかけて高座に上がる落語家はいなかった。「レンズが光ると表情が死ぬからね。でも、俺は動きや言葉で笑わせる落語家だから」といつて、初めてメガネで登場したのが圓藏師匠だったらしい。

そもそも圓藏落語は、表情を見ている隙がないくらいのスピード感が身上。「落語は、国語と数学が強い人が向いている。アドリブの数学だね。計算ができなくても、このあたりだとピンとくる。そのスピードが大事なんだよ」。

圓藏師匠によると、落語家には上手い落語家と達者な落語家、面白い落語家の3つしかないのだそう。「上手いのは亡くなった古今亭志ん朝さん、達者なのは立川談志さん。だから、俺は面白落語を目指すしかなかった」と早くから自分の進むべきを見定めているあたりにも、この人ならではの鋭さかもしれない。

いかにも噺家風のしゃがれた声と小気味のいいテンポ、今や江戸落語の至宝とも呼ばれる圓藏師匠の話芸がもう、まもなく。6月のグランシップで楽しめる。

かつては月の家圓鏡の名でおなじみ、あるいはメガネでおなじみ。これぞ江戸落語、圓藏落語の一席を。

グランシップ名人会其の七

橘家圓藏 独演会



六月五日(土) 六階 交流ホール

開場午後一時三〇分 開演午後二時

チケット発売中

全席指定 四、〇〇〇円

たちはなやえんどう

1953年、四代目月の家圓鏡(後に七代目橘家圓藏)に入門。前座名は橘家竹藏。桂文楽の内弟子をつとめ、55年橘家升藏で二ツ目、65年に真打に昇進。五代目月の家圓鏡を襲名。TBS「お笑い頭の体操」、ニッポン放送「円鏡のハッピーカムカム」等で一躍人気落語家となり、立川談志、三遊亭円楽、故古今亭志ん朝とともに落語四天王と呼ばれる。82年に八代目橘家圓藏を襲名。34年東京都生まれ。

野平一郎

音楽は、人間のメッセージ。

「演奏家は音を通して聴衆にコミュニケーションし、聴衆はそこから人間のメッセージを受け取る。」

iPodのようにいつでも好きな音楽が聴ける今でもその手で音楽にふれることができる場所が必要であり、それがコンサートホールであると僕は思っています。」

現代音楽の中心地にて。

今、日本で最も注目される作曲家であり、古典から現代作品まで弾きこなすピアニストでもある氏の活動は、静岡音楽館AOIの芸術監督就任の縁から、とくに静岡では広く知られるところだ。さらに数々の音楽祭や体験事業の仕掛け人を担うなど、まさに八面六臂の活躍。この日も文化庁〈地域文化芸術振興プラン〉の一環として来静の氏に、明日のクラシック音楽界を見すえた取り組み、その音楽人生などについてうかがった。

——先生の音楽人生はどのようにして始まったのでしょうか。

「両親が音楽好きで、親父がレコードコ

レクター……という大げさかもしれないけれど、名曲の名演奏みたいなものを家でよく聴いていました。また、僕自身は見たことがないけれど、母親は少しピアノを弾いていたんでしょう。嫁入り道具と一緒にアップライトのピアノを持ってきていて、それが家の中にあつた。それで僕が六才のとき、近所の先生にピアノを習うというところから、音楽人生が始まったわけです。ただ、音楽を聴くのは好きでも、勉強するのはあまり好きじゃなかったですね。」

——作曲を始められたのはいつ頃ですか。
「中学二年の頃からお小遣いを貯めてはコンサートに行くようになりましたね。当時は安く聴ける学生券というのがあって、主なシンフォニーオーケストラはほとんど聴いていました。そういうところで日本人の作品に出会って、作曲に興味をもつようになって、それで中学三年生のとき、ピアノの先生に紹介していただいて作曲の勉強を始めたんです。そして、芸大の附属高校に行つて、芸大、大学院まで作曲のクラスにいました。ピアノはずっと好きで続けていましたが、これほどバリバリにやるとは思っていませんでした。」
——その後留学されたパリでは、ピアニストとしてもご活躍でしたが。
「フランスへ留学したのは本当に遅くて二十五才の時でしたから、ピアノのクラスには入れなかったということもありますが、最初は作曲のクラスにいたんです。一時代前までは作曲家もドイツやフランスに行つて勉強するという考えがありました、

僕の少し前の世代あたりから日本の作曲家は日本でやっていけばいいという考えから、留学しない先輩もいたんですね。でも、フランスの近現代のレコードを聴いているうちにやっぱり行つてみたいと。結果、フランスという国がよほど自分に合っていたんでしょ。四年ほど学校に行つて、その後は仕事をしながら計十二年ほどいました。」

——それはご自身の音楽人生の中でどのような時代ですか。

「いつてみれば下積み時代ですけど、とにかくいろんな経験をしたということが自分の今をつくつていていると思います。当時、ヨーロッパにおける現代音楽の中心地の一つという意味でフランスは面白く、発表の場も数多くあつたので、作曲家にとっては実にいい環境でした。また、学校を出た頃は、現代音楽のアンサンブルをやる室内オーケストラがニョキニョキと現れたときで、そういうところでピアノを弾くことが自分のピアノ人生の始まりになったともいえます。」

いい聴衆を育てるために。

——ご自身が書かれた曲に関していうと、最大の理解者である演奏家は、ご自身なのでしょいか。

「うーん、どうでしょうね。僕の場合、たまにピアノを弾くから、自作の発表のときに自分が舞台の上にいるということはとても多いんですけど、本当は客席に座つて、客観的に聴かないと本当のところは判断できない

ですよ。もちろん書いた瞬間はこれでいいと思つていらっしゃるんですけどね。作曲家がすべて自分の書いたものの帰結を得ているというのは迷信でしかなくて、ラヴェルにしろ、モーツァルトにしろ、ベートーヴェンにしろ、彼らの作品の帰結はその時代に見つかったわけではなくて、後世の人が見つけたものですからね。」
——ご自身の作品、あるいは演奏で転機になった曲などはおありですか？



「野平一郎 Plays J.S.バッハ 平均律クラヴィア曲集」
第1巻 (wwcc-7562~63) 第2巻 (wwcc-7564~65) 各2枚組¥4,500
「音楽の旧約聖書」ともいわれるバッハの大作を、静岡音楽館AOIにてピアノ、チェンバロ、パイプオルガン、コンピュータを使い分けて演奏。話題を呼んだ。

見いだせたことは大きかったですね。」
——二〇〇五年より静岡音楽館AOIの芸術監督に就任されていますが、それは作曲や演奏とはまったくベクトルの異なる作業なのでしょう。

「これはやってみるまでわからなかったんですけど、プログラムや演奏会を決めるということは作曲の行為に似たところがあるんですね。どういう流れでその演奏会があつて、人にどう伝わるのが理想かということを考えて、コンサートをつくっていくというのは、とつてもおこがましい言い方ですけど、自分にとってはクリエイションの一つなんです。」
——芸術監督としてはどのようなことを目指してらっしゃるのですか。

「これは東京でもそうですけれども、まず、クラシック音楽を聴く聴衆がとつても高齢化しているということがあります。表面的には『のだめ(カンタービレ)』が漫画になつて、ドラマや映画になつて、若い人の間でクラシックがブームのようではあるけれども、果たして演目をきちんと受け止めて聴いている人がどれだけいるかというと、やはりクラシック音楽離れは進んでいるといわざるを得ない。だから、若い人にいいコンサートを安く提供して、いい聴衆を育てるということに取り組んでいきたいと思っています。さらに演奏会の数自体が少なくなっているために世に出にくくなっている若い演奏家たちをサポートしていくこと。そして、もう一つは子どものための取り組みですね。専門教育としての講座もいろいろ展開していますけれど、

今まで時間をどう生きてきたか。その先に今の演奏があると氏はいう。「そういう意味では音楽は水モノであり、生きモノ。そして、そういうことを僕がもっとも感じるのはモーツァルトですね。」



【のだいらちろう】

東京芸術大学、同大学院修士課程を修了後、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に学ぶ。ピアニストとして、内外の主要オーケストラにソリストとして出演する一方、名手と数多く共演し、室内楽奏者としても活躍。作曲家としてもフランス文化庁委嘱を含む多くの作品があり、近年ではオペラ「マドルガーダ」(シュレスヴィッヒ・ホルシュタイン音楽祭で初演)、歌曲集「悲歌集」(津田ホール委嘱)、チェロのための「謎」(ハンブルグ・ムジークハレ委嘱)、日本フィルシリーズ第40作「トリプティック」、チェロと管弦楽のための「響きの連鎖」(サントリー音楽財団委嘱)などが世界初演され、いずれも絶賛を博す。武井賞(1990年)、第13回中島健蔵音楽賞(95年)、第44回尾高賞、第46回芸術選奨文部大臣新人賞、第11回京都音楽賞実践部門賞(96年)、第35回サントリー音楽賞(2005年)、第55回芸術選奨文部科学大臣賞(05年)を受賞。05年より静岡音楽館AOI芸術監督。

それとは別に、音と関わることで音楽が好きになって、最終的には聴衆としてホールに戻ってきてくれることを願っています。世代が変わったとき、そこに音楽が好きな大人がたくさんいてほしいと。今、僕はクラシック音楽について相当危機感を持っているんですよ。」

—— 子どものためのコンサートが、ゴールデンウィークにグランシップで予定されており、楽しみにされている方も多いと思いますが。

「小学校高学年ぐらいになると知恵がついてきて、音楽というのはこういうものであるという考えが育ってきますよね。好きな音楽もできてくる。しかし、それ以前はもつと頭が柔軟ですから、できればその時期にいろんな音楽を聴いてほしい。時代や国、地方によつて響きが違うんだということを感じてほしいですね。」

—— 今後のご予定、新たな取り組みなどについてお聞かせください。

「今、児童合唱の曲を書いています。こういう考え方は決して正しいとは思わないけれど、大人が歌う曲とは違って、子どもには教育的配慮みたいなものが作曲家の頭の中に芽生えるんですよ。それで五年ほど前にアインシュタインの言葉をもとにした児童合唱曲（『ある科学者の言葉』）を作つて、去年の五月にグランシップでやつていただきましたが、現在、書いているのは二作目。今度はダーウインの進化論をテーマにしている、人間はどこからきて、いまどういう状態にあるのかを明らかにするような合唱曲にしようかなと。あまり教条的にはしたくはないし、音楽

的に美しいものにできればと思っています。それからフェスティバルも企画中です。作曲家でもある僕の役割というのは、委嘱作品も含め、新しい曲によつて音楽界そのものを活性化させることではないかと考えているんです。古いものばかりやっていては、音楽界は死んでいくと思うんですよ。実は八年ぐらい前に神奈川のホールでパネルディスカッションがあつて、五十年後にこういうコンサートホールはあるかという議論があつたんですけど、僕は以外は全員「ない」といったんです。それを聞いて僕は相当ショックでした。今やiPodのように電子的、あるいは電気的手段を使つていつでも好きな音楽を聴くことができるけど、我々が直接手で木をさわるのが非常に重要なように、その手で音楽にふれることのできる場所が必要だと思っています。音楽もまた人と人とのコミュニケーションですからね。演奏している人は聴衆にコミュニケーションし、聴衆はそこから人間のメッセージを受け取る。最終的には音を聞くんだけど、音を聴くことによつて人間が発しているメッセージを聴くということが重要なわけですよ。そういう意味で人と人がふれあえる場所は、今のところコンサートホールだと僕は思っているんですけど。もちろん五十年後は今ほどたくさんさんのホールはないかもしれないけど、音楽を人から人へと受け渡していくという行為はなくならないと思つているし、そこがとっても重要なことなんです。そして、そのためのプログラムであり、音楽界の活性化であるわけです。」

G



2010.5/5 水・祝 チケット発売中!

グランシップこどもの日コンサート

世界の音楽と動物たちのカーニバル

14:00開演(13:30開場)

グランシップ 中ホール・大地

全席指定(税込)／一般 2,000円 高校生以下 500円 *4才以下入場不可

■曲目 第一部／モーツァルト：フルート四重奏曲 第1番 二長調 K.285、
黛 敏郎：BUNRAKU(文楽)、バルトーク：コントラスツ

第二部／サン＝サーンス：組曲「動物の謝肉祭」(お話付)

■企画監修・ピアノ 野平一郎

■お話 江戸家猫八

■出演 松原勝也(ヴァイオリン)、小林美恵(ヴァイオリン)、川本嘉子(ヴィオラ)
河野文昭(チェロ)、山本 修(コントラバス)、佐久間由美子(フルート)
高橋知己(クラリネット)、和田光世(パーカッション)、長尾洋史(ピアノ)

はじめての 歌舞伎

その昔、芝居小屋では恋が生まれていた。

役者目当ての女たちがいて。

“かべす”に釣られた若い衆がいて。

役者が花道に登場すれば、

やんやと声をかけつつ

あそこに面差しがいい女がいるだとか

あれはどこそこの二代目だとか。

かべすというのは、菓子、弁当、鮓のことで

海苔巻をつまんであたりを見回し

酒を飲んで噂話に興じたりとお気楽そのもの。

21世紀の今、様相は少～し違うとはいえ

かつて歌舞伎が庶民の楽しみごとだったのは

確かなわけで。

つまり歌舞伎は難しくない。誰にでも楽しめる。

目の保養、恋の予感はともかく

衣裳やメイクの派手ぶり、見得のインパクト。

退屈などするわけがないのだ。



若葉マークのみなさんに
へ知らざあ言つて聞かせやしよう
タネは尽きねえ、歌舞伎の魅力！

※。知らざあ言つて聞かせやしよう、浜の真砂と五右衛門がくの一節は、「青砥稿花紅彩画」（あおとそうしはなのにしきえ）より「白波五人男」、弁天小僧菊之助の名台詞。河竹黙阿弥お得意の心地よい七五調。



三代目歌川豊國画「踊形容江戸繪榮」大判錦繪三枚横物
(安政五年七月江戸市村座上演の「暫」)

かぶき、かぶけば。 かぶきの歴史。

かぶく(傾く)というのは、時代の先端をいくこと、前衛的であること。今で言うところのモダン、アヴァンギャルド。それが歌舞伎の語源である。確かにあのケレンなる世界は、未だに別次元の空気を孕んでいる。

そもそも歌舞伎は、江戸時代の初期、出雲の阿国が念仏踊りに前衛的な風俗を取り入れた「歌舞伎踊り」がその始まり。その後、遊女たちによる「遊女歌舞伎」が流行。これを見咎めた幕府が女性による上演を禁じ、以来、歌舞伎は男性のみによる特異な芸能となった。当初、遊女の代わりに現れたのは美少年たちで、それは「若衆歌舞伎」と呼ばれたが、幕府はこれも禁じ、その後、成人男子による「野郎歌舞伎」を経て、演劇的な要素を加えつつ進化したもの、それが現在の歌舞伎といわれている。



歌舞伎用語

- 〔さわり〕 義太夫節の中のとくに叙情的な部分。
- 〔ケレン〕 外連。宙乗りや早替わりなど、意表をつく演技、演出のこと。
- 〔だんまり〕 無言の立ち廻り。暗闇で探り合う場面。
- 〔見得〕 みえ。動きを止め、力強く、美しく印象づける演技。
- 〔六法〕 ろっぽう。手足を様式的に使い、勢いを表す歩きの演技。
- 〔女形〕 おやま。おんながた。女性の役を演じる役者。
- 〔立ち役〕 女形に対し、男役の総称。

「助六」

助六弁当は、江戸の古典歌舞伎を代表する演目『助六由縁江戸桜』(すけろくゆえんのえどざくら)の幕間(まくあい)に出されたことに因むという説もあるが、助六の愛人の名「揚巻」がいなり寿司の「油揚げ」と「巻き寿司」に通じた命名であるというのが一般的。ちなみに幕の内弁当は、芝居の幕間に食べることに由来したもの。

登場人物を読み解くカギは 化粧にアリ。

歌舞伎の種類は、大きく分けて2つ。江戸時代以前の事件や人物を描いた「時代物」と、江戸時代の庶民の人間模様を映し出す「世話物」とがある。

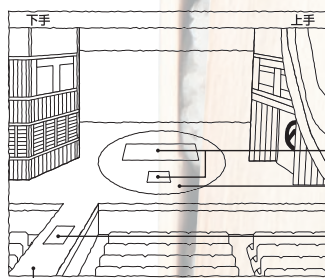
また、その役柄は、善人の男役が「立ち役」、悪人なら「敵役」、女性の役は「女形」、格の高い遊女は「傾城」など、役の本質を表す名称が用いられており、ありがたいことに一目で登場人物の善悪や人柄がわかるようになっている。なかでも注目してほしいのが“化粧”で、世界でも珍しい化粧法とされる「隈取」では、善悪がより明白。赤い隈取は正義感を表すヒーローの色なら、青い隈取は邪悪な心を表す悪人の色というわけだ。さらに花道途中の穴「スッポン」から登場するのは、普通の人間ではなく、妖怪や幽霊、忍者、怪獣などに限られており、こうした約束事を知っていれば、歌舞伎はもっとわかりやすいものになるだろう。



「隈取」 くまどり

時代物の立ち役の中で顔の血管や筋肉を誇張するように筋を描いた化粧法。荒事の主人公は白塗りに紅で勇壮さを現し、大悪人は白に藍色で隈を取る。一本隈、火焰隈など多種にわたる。

独特の舞台機構にも 歌舞伎ならではの面白さが！



〔花道〕 はなみち。舞台下手にある通路。舞台から客席にのびた通路。

- 〔セリ〕 切り穴。舞台装置や登場人物を乗せたまま上下する装置。
- 〔廻り舞台〕 大道具を乗せたまま舞台が廻り、次の場面が現れる装置のこと。
- 〔スッポン〕 花道の七三（舞台から三分、揚幕から七分）の位置にあるセリ。

3

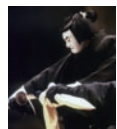
7/17チケット発売

人形浄瑠璃「文楽」

10月10日(日) 中ホール・大地

昼の部／13:30開演 夜の部／18:30開演

一般 3,500円 学生 1,500円



仮名手本忠臣蔵
早野勘平腹切の段



曾根崎心中
天神森の段

4

10/23チケット発売

グランシップ静岡能

平成23年1月23日(日) 中ホール・大地

14:00開演

S席 5,000円 A席 4,000円 学生 2,000円



はじめて歌舞伎を楽しむあなたに。 国立劇場の人気プログラム。

さて、グランシップでは、古典芸能を身近に楽しんでもいただけるよう、これまで「能」「文楽」の上演や鑑賞教室などを開催してきたが、この夏、初めて「歌舞伎」が、それも国立劇場の人気公演「歌舞伎鑑賞教室」がグランシップに初お目見えする。

役者による趣向を凝らした解説と、はじめての歌舞伎鑑賞に適した名作、名場面の上演で好評のプログラムで、今回は『鳴神』(なるかみ)。『鳴神』は、朝廷に恨みを持つ鳴神上人が、竜神を滝壺に封じこめ日照りにしたことからはじまる物語で、歌舞伎の代表的な演技様式「荒事」のエッセンスがたっぷりのスケールの大きな舞台だ。

もちろん秋には「能楽入門公演」「文楽」、来春には「静岡能」も予定。はじめての伝統芸能は、ぜひグランシップで。それはきっといい出会いになるはずだ。

1 4/11チケット発売 国立劇場 歌舞伎鑑賞教室

6月26日(土) 中ホール・大地

1回目/11:00~ 2回目/14:30~

一般 3,500円 学生 1,500円

内容: 解説「歌舞伎のみかた」

歌舞伎十八番の内「鳴神(なるかみ)」

出演: 片岡孝太郎、片岡愛之助 ほか



片岡孝太郎



片岡愛之助

「グランシップ伝統芸能シリーズ」お得なセット券! 100セット限定

発売日/4月11日(日)~6月20日(日)

お申込み/グランシップチケットセンター

TEL.054-289-9000

※「国立劇場 歌舞伎鑑賞教室」「人形浄瑠璃 文楽」は1日1公演のみ。(時間選択可)

1 + 2 + 3 + 4 = 13,000円

↓ 3,000円もおトク!

10,000円

◆今年度もグランシップは、見応えアリの伝統芸能が続々! お楽しみに。

2 要事前申込 グランシップ静岡能 能楽入門公演

9月12日(日) 中ホール・大地

14:00開演

1,000円(要事前申込)



土蜘蛛 渋谷区学生能 観世芳伸
撮影・前島吉裕

「しずおかの文化100号を達成」

八木洋行

(グランシップペンクラブ会員・しずおかの文化編集長)

静岡県文化財団の季刊誌「しずおかの文化」が、この2月20日の発刊で100号となりました。

「しずおかの文化」は、創刊以来、特集と連載の両輪立って編集されてきました。特集は

したので、実に25年になりました。創刊された年は、男女雇用機会均等法が成立、科学万博つくば85の開催、痛ましい日

航ジャンボ機の墜落事故など

「岳南鉄道各駅停車」「天城越え」など、ある地域を限定

越え」など、ある地域を限定



GRANSHIP Pen Club

し、その地域の歴史・民俗・匠技・自然などを有機的に結合立体化させるものがありま

編集しています。オプションの折り込みイラストマップは、このライフスタイルに役立つもの

と考えています。また、89号から、ふるさとに腰を据えて普

段のしずおかを描く漫画家、法月理栄さんの「しずーかま

めつたい物語」の連載もはじま

100号は、「東西の狭間から」と題し、日本列島の南北と東西というステージに立って見えてくる静岡県を特集しました。ここでは東西文化の激突と破砕、結合という現象も立ち現れるのですが、静岡県でこそ成立したオリジナル文化もあることを示しました。



親子で行こう! 遊ぼう! 楽しもう!

GWは、GW!

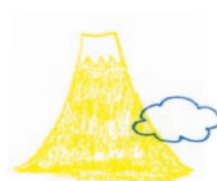
ゴールデンウィーク

グランシップ・ワンダブル

ゴールデンウィーク、と聞いただけでなんとなく心が躍ってしまう。それは春から初夏へと向かう、晴れ晴れとした季節のなせるワザかもしれない。そもそもゴールデンウィークという呼び名は、半世紀以上も前の映画業界から生まれたもので、ある年のこの時期、映画館にどっと人が訪れ、お正月やお盆以上の興行収益を上げたことから生まれた言葉らしい。

せっかくのいい季節、せっかくの休日だから、どこかへ出掛けたくなる。行き先は映画でも遊園地でもいいが、親子連れならその選択肢に今年はぜひ、グランシップを入れてほしいところだ。

「毎年」の人は今年も。
「まだ」の人は今年こそ。



今年の「こどものくに」では
布や毛糸であんなコトも!?

入場無料

グランシップ こどものくに ～ま・ほ・う の めの～

5/2(日)～5(水・祝)

10:00～16:00(最終入場15:30)

★6階 展示ギャラリー メインプレイゾーン

ギャラリー1「ぬのひろば」好きな布を使って、「かかし」をつくろう!

ギャラリー2「ぬのせかい」 「ぬのプール」で泳いだり、はぎれを使っておえかきしよう!

ギャラリー3「けいとのもり」 けいとのもりで自分だけのたからものをつくろう!

★6階 交流ホール からだあそびゾーン 親子でからだを動かす体験教室はこちら。

★3階 ロビー かぞくのひろば

こどもあそびやおりがみ、人気の「ゆめのおきがえコーナー」も登場。

5/2から開催の『グランシップこどものくに』は、毎年延べ約15,000人もの親子で賑わう、いわばゴールデンウィーク恒例のビッグイベントといえる。絵本、音、紙、らくがきと毎回変わるテーマも話題の一つで、5回目となる今年は布や毛糸をモチーフにさまざまな楽しさを発見できる仕掛け。布のプールで泳いだり、布や毛糸を使って創作したり。新進造形作家として注目され、ファッションブランドの店舗ディスプレイでも知られる田宮奈呂氏の作品も登場。さわって、つくって遊べる、こどもたちの感性、創造性をピピッと刺激すること間違いナシだ。



NPO法人 伊東市文化財 史蹟保存会

郷土愛の名のもとに
先人たちのドラマを語り継ぐ。

伊東の地への郷土愛、そのアイデンティティの現れの一つである「伊東祐親まつり」。孫に曾我兄弟や北条実時をもつ、伊豆随一の豪傑といわれる祐親ほか、祖先への感謝をこめた本祭を市や観光協会とともに支えるのが、この保存会である。水上舞台による薪能など、特異性のある試みを通して、地元文化・芸能の振興に努めているほか、子どもたちのための「お能教室」を開

講し、能舞台の前座として出演機会を設けたり、郷土歴史マンガ読本を制作するなど、教育推進事業にも積極的だ。

また、その名の通り、地元文化財や史蹟を守り、市民への啓蒙を図っていくこともまた大事な使命の一つである。江戸城築城の折に切り出された刻印石の展示や、曾我物語発祥にまつわる名所「椎の木三本」の整備をはじめ、史蹟ツアー、曾我物語サミットなど、多面的な活動を通じて、郷土の「心の資産」をも大事に守り育てる取り組みをすすめている。



いとうしぶんかざいしせきほぞんかい

- 団体名／NPO法人 伊東市文化財史蹟保存会
- ジャンル／文化交流・文化支援
- 設立／1976年
- 会員数／88名
- 代表者／堀口武彦
- 活動拠点／伊東市
- 活動エリア／伊豆
- 実績／地域文化・芸能振興事業、史蹟保存・啓蒙事業、教育推進事業を3本柱に活動。平成15年度第17回地域文化活動賞 同年第5回中部の未来創造大賞・優秀賞受賞。



トップ演奏家と楽しむカーニバル。
動物の鳴きマネ名人、猫八も登場。

もう一つのお楽しみは、こちらも恒例の「こどもの日コンサート」。昨年にひき続き、ピアニスト、作曲家として知られる野平一郎（P11～参照）が、音楽の楽しさがいっぱいひとときをプレゼントする。何といっても魅力は、日本のトップ演奏家たちが顔を揃えること。そして、サン＝サーンスの組曲「動物の謝肉祭」では、動物の鳴きマネ名人、江戸家猫八が物まねと解説を交えてコンサートを盛り上げてくれることだ。楽しいのは子どもばかりじゃない。大人にとっても音楽を楽しむ心を喚起する、上質な音楽体験の時間となるはずだ。

チケット発売中

グランシップ こどもの日コンサート

～世界の音楽と動物たちのカーニバル～



5/5(水・祝)

13:30開場 14:00開演 中ホール・大地
全席指定 一般 2,000円 高校生以下 500円
(4才以下入場不可)

曲目：サン＝サーンス／組曲「動物の謝肉祭」ほか
企画監修・ピアノ：野平一郎
お話：江戸家猫八



野平一郎



江戸家猫八

出演：松原勝也(ヴァイオリン) 小林美恵(ヴァイオリン)
川本嘉子(ヴィオラ) 河野文昭(チェロ)
山本 修(コントラバス) 佐久間由美子(フルート)
高橋知己(クラリネット) 和田光世(パーカッション)
長尾洋史(ピアノ)

ある仕事で富士宮市をおとずれ、
一時間半ばかり時間があいたので、富
士市との境にある「次郎長町」へ案内
してもらった。

清水次郎長が、明治七年から富士
山の裾野の開墾を手がけたことは、
かねてから読み知っていたが、実際に
その土地をおとずれるのは初めての
ことだった。

次郎長は、山岡鉄舟や静岡県令・
大迫貞清に、富士山の裾野の荒地地
開墾をすすめられ、静岡監獄の江尻
（現在の静岡市清水区）支所の囚人
を動員して開墾をはじめた。現地では、
のちに次郎長の養子となった天田
五郎（愚庵）が指揮をとり、木を切り、
雑草とたたかい、岩を砕く苦しい
労働を行ったという。

だが、土地はやせ、コウゾやミツマタ
などの紙の原料や農作物をつくるのは
困難で、十年後の明治十七年に開墾は
中止され、全員引きあげてしまった。

次郎長町という名のバス停の脇に、
次郎長町全体の見取図が描かれ、そこ
に住民の苗字が記された掲示板があり、
白髭神社には、昭和四十三年に建
てられた「次郎長開墾記念碑」と子分
お相撲常の墓があった。これらの雰囲気

気から、土地の人々に次郎長の開墾が
感謝されていることがうかがわれた。

だが、資料を照らし合わせると、次郎
長と天田五郎の出会い、明治十一年、
山岡鉄舟を介してのことだったようだ。
したがって、天田五郎による富士裾野
開墾の指揮は、開墾
後四年目くらいから
のことということにな
る。その天田五郎によ
れば、囚人と労働意

欲はやはり結びつかず、希望者をつつ
て連れて行った博徒連中もまじめに働
くことはつづかずというありさまで、
資金が尽きたこともダメージとなって、
ついに開墾中止を次郎長に進言しな
ければならなくなった。つまり、次郎長
の富士山裾野開墾は、こころざし半ば
にして頓挫したといつてよかったのだ。

しかも、次郎長は富士山裾野開墾
を中止した明治十七年二月に、賭博
容疑で静岡井宮の監獄に収監されて
いる。だがその後、開墾を中止した裾
野の地が、官有地から民有地となって
払い下げられ、横浜の貿易商・高島嘉
右衛門が四十町歩をゆずり受けた。
また、山梨県や御殿場、裾野などの近
くの村からの入植もあり、開墾が再

富士山と次郎長

開かれて、現在の次郎長町の基盤がで
きあがった。そのようなあらましだが、
富士市総務部広報課のホームページ
には記されている。

開墾がうまく継承されたことで、
「次郎長開墾記念碑」が、中止の八
十二年後に建てられることになる。こ
のなりゆきからも、博徒から大俠への
転身を上手にこなした次郎長に与え
られた幸運がみえてくる。鉄舟や大
迫貞清、あるいは天田五郎との邂逅
もまた、幕末から明治への大波を泳
ぎ切った次郎長にとつての、大いなる
幸運であったはずだ。

それにしても、次郎長町から打ち
ながめる富士山は、想像外に巨大な
姿だった。



【むらまつともみ】作家。東京生まれ。
小学校～高校時代を清水（現静岡市）で過
ごす。慶応義塾大学文学部卒業後、出版
社勤務を経て文筆活動に入る。小説、エッ
セイ等、著書多数。「時代屋の女房」で直
木賞、「鎌倉のおばさん」で泉鏡花賞受賞。





公演情報

2010/4-2010/8

※2月現在の情報です。出演者、天候等の都合により、公演の内容が変更されることがあります。



入場無料

5/15(土)・16(日)

グランシップ トレインフェスタ2010



多彩な鉄道模型を中心に、Nゲージ体験やミニ列車乗車会、駅弁コーナー、「銀河鉄道999」の上映など、鉄道ファンはもちろん、親子で楽しめる日本最大級の鉄道イベント。

■10:00～17:00

(5/16日は～15:30／入場は両日終了30分前まで)

■大ホール・海、中ホール・大地、展示ギャラリーほか

■入場無料



チケット発売中

6/5(土)

G CN L リコード42062 P リコード401-541 S

グランシップ名人会 其の七 橘家圓蔵独演会

■14:00開演
(13:30開場)

■交流ホール

■全席指定 4,000円

→P10～参照



チケット発売中

5/5(木・祝)

G CN L リコード42292 P リコード348-362 S

グランシップ こどもの日コンサート

世界の音楽と動物たちのカーニバル



野平一郎



江戸家猫八

【企画監修・ピアノ】野平一郎

【お話】江戸家猫八

【曲目】サン＝サーンス／組曲「動物の謝肉祭」ほか

■14:00開演(13:30開場)

■中ホール・大地

■全席指定 一般 2,000円 高校生以下 500円

※4才以下入場不可

→P11～P20～参照



チケット発売中

5/12(土)

G CN L リコード42061 P リコード401-540

朗読と音楽で綴る言の葉コンサート 坂東玉三郎が語る

「海神別荘」



「夜叉ヶ池」「天守物語」に続く、坂東玉三郎の泉鏡花三部作。海底の世界に嫁ぐ美女と公子の夢幻の世界を、ハーブの音色をバックに朗読!

■19:00開演(18:30開場)

■中ホール・大地

■全席指定 S席 5,000円 A席 4,000円

学生 2,000円

※当日券は500円増

※未就学児入場不可



要事前申込

4/25(日)

静鉄グループPRESENTS グランシップコンサート N響・茂木大輔プロデュース 「知って聴く名曲」



茂木大輔

©竹原伸治

〈のだめ音楽会〉でも人気の茂木大輔が、映像と演奏、そして自慢のおしゃべりでクラシックを楽しく解剖。お手頃な料金も魅力のコンサート。

【指揮・お話】茂木大輔

【管弦楽】静岡交響楽団

【曲目】ベルリオーズ／幻想交響曲Op.14

■14:00開演(13:30開場)

■中ホール・大地

■全席指定 1,000円

(要事前申込／応募多数の場合は抽選)

■申込方法／往復はがきに郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・参加人数(2名様まで・小学生以上)を記入(返信用にも郵便番号・住所・氏名を明記)の上、〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4 グランシップ「知って聴く名曲」係まで申込を。

3/26(金)必着。応募多数の場合は抽選。



入場無料

5/2(日)・5(木・祝)

グランシップ こどものくに



■10:00～16:00(最終入場15:30)

■展示ギャラリー、交流ホール、3階ロビーほか

→P20～参照



託児をご希望の方は、公演1週間前までに(財)静岡県文化財団企画制作課までご連絡ください。☎054-203-5714

※お預かりできるのは、2歳以上の未就学のお子様に限ります。



5/2(日)チケット発売

8/1[㊤]

G C N Lコード42775 Pコード101-973 S

★グランシップ「音楽の広場」



300人の大オーケストラによる真夏の音楽祭。迫力ある演奏を今年も!

【指揮】広上淳一

■15:00開演(14:00開場)

■中ホール・大地

■全席指定 SS席 3,000円 S席 2,500円
A席 2,000円 B席 1,500円

※こどもは各1,000円引き

※4歳未満入場不可

※こどもは4歳以上高校生以下



入場無料

8/8[㊤]★グランシップ
ビッグバンドジャズフェスティバル

今年は大ホールでの開催が決定!伝説のジャズフェスがパワーアップして再見参!

■13:00開演(12:00開場)

■大ホール・大地

■入場無料



5/15(土)チケット発売

8/14[㊤]・15[㊤]

G C N Lコード42982 Pコード786-226 S

★おとみち2010

～グランシップダンスの夏祭り～



今年の人気ダンスショーケースやディスコタイムがバージョンアップ!

■13:00開演(12:00開場)

■大ホール・海

■1Day 500円



5/23(日)チケット発売

7/24[㊤]・8/8[㊤]G C N Lコード42812 Pコード986-831
K I T★森に守られた都市
アンコールワット

～世界文化遺産アンコール遺跡群写真展～



アンコール・ワットをはじめとする大小700にも及ぶ遺跡群の今と、そこに生きる人々の姿をおさめた写真を紹介。夏休み、親子で「観て・知って・感じ・考える」機会に。

■10:00～17:00(入場16:30まで)

■6階展示ギャラリー

■一般 500円(当日 600円)

高校・大学生・70歳以上 前売250円(当日300円)

※中学生以下無料



5/2(日)チケット発売

7/24[㊤]

G

仮面ライダーW
スーパーライブ2010

大人気!〈仮面ライダーW〉の本格アクションステージ。夏のグランシップでヒーローに会おう!

■①11:00開演(10:00開場)

■②14:30開演(13:30開場)

■大ホール・海

■全席指定 一般 3,000円

※3歳未満膝上鑑賞無料



5/2(日)チケット発売

7/27[㊤]・29[㊤]

G

★グランシップ
世界のこども劇場

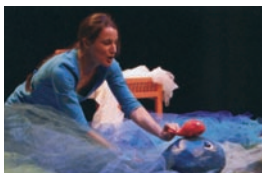
イタリア、ジンバブエ、スウェーデン、カナダからやってくるのは、折り紙付きの児童劇団! 人形劇や歌、ダンスなど、世界トップクラスのパフォーマンスは、夏休みの素晴らしい1ページを飾るはず。

■10:00～

■中ホール・大地

■大人 1,000円

子ども 500円



3/21(日)チケット発売

8/13[㊤]

G C N Lコード42342 Pコード348-645 S

グランシップジャズライブ プレミアム2010
前田憲男スペシャルビッグバンド
with 日野皓正

前田憲男



日野皓正

音の魔術師率いるビッグバンドとスーパーランベターの共演が実現。このステージのために豪華メンバーが集結!本邦初の夢のステージをお楽しみに。

■17:30開演(17:00開場)

■中ホール・大地

■全席指定 一般 5,000円 学生 2,500円



4/11(日)チケット発売

8/26[㊤]

G C N Lコード42063 Pコード401-542 S

国立劇場 歌舞伎鑑賞教室



片岡孝太郎

片岡愛之助

■①11:00開演(10:30開場)

■②14:30開演(14:00開場)

■中ホール・大地

■全席指定 一般 3,500円 学生 1,500円

→P16～参照

TOPIC-1

開館10周年ラストラン 注目の冬の記念事業開催



オペラ「椿姫」 撮影：橋本武彦



「北大路魯山人展」



「第5回フォトコンテスト入賞作品展」

グランシップ開館10周年の最後を飾る冬の記念事業として、SPACとの共同制作によるオペラ「椿姫」、何必館所蔵の初公開作品を含む200点が出品された「北大路魯山人展」、静岡県内外から多

数の作品が寄せられた「静岡の魅力 第5回フォトコンテスト入賞作品展」を開催。「上質を、身近に。」のキーワードのもとで展開された各イベントを評価する声が来場者から聞かれた。

TOPIC-2

華やかなツリーとともに
10周年冬の記念展示

11回目の冬を迎えたグランシップでは、〈未来を担う子どもたちの、心すこやかな成長〉を願い、冬の記念展示を開催。過去のグランシップ主催のイベントポスターをはじめ、清水白百合幼稚園・静岡聖光幼稚園の園児による作品130点を展示。エントランスでは華やかなツリーがお客様を出迎えた。

TOPIC-3

初日の出に新年の願いを
展望ロビー開放

グランシップ恒例の人気イベント「初日の出特別開放」が行われ、元旦早朝に10階展望ロビーが開放された。当日は天候に恵まれ、雄大な富士山や日本平山頂からのご来光を楽しむ来館者におしるこや甘酒が振る舞われた。

TOPIC-4

タバコ臭のないエントランスへ
喫煙所移転のお知らせ

来館者の健康増進を目的として、グランシップの喫煙所を移転。エントランス付近のタバコの臭いが無くなったと好意的な意見が寄せられた。

TOPIC-5

3,600人の観衆と共に
「静岡音楽祭」

1/23、大ホール・海にて静岡県防衛協会主催「第29回静岡音楽祭」が開催された。会場には約3,600人も観客が訪れ、自衛隊音楽隊による勇壮かつ華麗な演奏のほか、ユーモアあふれるらっぱ隊のショー演出など、演奏者も観客も一体となり音楽祭を楽しんでいた。

TOPIC-6

こどもに文化芸術鑑賞・体験を
文化庁「地域文化芸術振興プラン」

文化庁「地域文化芸術振興プラン」の一環として、(財)静岡県文化財団などが主催し、県内各地で様々な公演が行われた。2/5伊東市立北中学校にて行われたワークショップ「触れてみよう『能の音楽』」では、能楽大倉流小鼓方十六世宗家大倉源次郎氏による能についてのお話、楽器の紹介のほか、生徒がお囃子や小鼓を体験。充実の90分に「能に興味をもった」「能を身近に感じた」「今後もまたぜひ」など、好評を得た。

TOPIC-7

書道やアート作品に
力作ずらり「合同文化祭」

2/3、6階展示ギャラリー1ほかにて「平成21年度静岡県中部高等学校定時制通信制生徒合同文化祭」が行われ、日頃の活動記録や書道・絵画・グラフィックアート作品など、個性あふれる作品が展示された。

TOPIC-8

がん看護の理想実現を目指して
「日本がん看護学会学術集会」

2/13・14、大ホール・海ほかにて開催の学術集会「第24回日本がん看護学会学術集会」には、のべ約6,000名が参加。テーマ「がんとの共生を実現する看護」のもと、がん看護に関するセミナーや講演会のほか、タレントの山田邦子さんによる「大丈夫だよ、がんばろう!」の特別講演やポスターセッション・企業展示なども行われた。

TOPIC-9

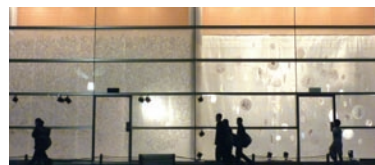
地域を支える文化の力
第23回地域文化活動賞決定

静岡県文化財団では、昭和62年度より県内各地で優れた文化活動を行っている文化団体を毎年表彰。このほど今年度の受賞団体が決定し、その表彰式および活動発表会が3/7、11階会議ホール・風にて開催された。受賞団体は以下の通り。

〈地域文化活動賞〉静岡混声合唱団TERRA(静岡市)〈地域文化活動奨励賞〉(順不同)びくのか(藤枝市)／三島グロリア合唱団(三島市)／NPO法人芸術文化創造育成センター(磐田市)／NPO法人伊豆森林夢巧房研究所(伊豆市)／NPO法人クリエイティブサポート レッツ(浜松市)〈地域文化活動努力賞〉NPO法人水の国しずおかフォーラム(静岡市)／NPO法人文化芸術創造工房カルチャーネット御前崎(御前崎市)

GRANSHIP
SHOW-WINDOW ALBUM

グランシップ開館10周年から「10」を「柔」に転化。植物を包んだ半透明の「まる」が浮かび、冬の冷たい空気に白い空間が現れる「oblate」(オブレート)に対し、「～II」(～2)では、珊瑚や葉脈を思わせる白い線が広がっている。

テーマ／「oblate」
制作／中村 妙

テーマ／「oblate II」

中ホールで発表会



中ホール・大地

プロ仕様のステージで

最高のパフォーマンスを。



有名ミュージカルやバレエなどの公演が行われ、数々の感動をおとどけてきた場所。自然石貼りのエントランスを抜けて、一步会場に足を踏み入れれば、木目を生かした格調高いインテリア。上質でかわめて心豊かな空間は、芸術発表にふさわしい佇まいだ。

また、ゆるやかな曲線に配された客席は、見やすく聴きやすいと好評。1200席を超えるキャパシティは、ミュージカル、バレエだけではなく講演会や学会にもおすすめ。ただし、リピーターが多く、人気が高いホールなため、ご利用をお考えの方はお早めにご連絡を。

あなたがステージに立つとき—その会場のグレードが高ければ高いほど、心のボルテージは上がり、そのパフォーマンスもきつと素晴らしいものにはず。たとえばグランシップの中ホール・大地。ここはこれまでも



illustrated by
AKKO

グランシップじゃなきゃ! の魅力は

③

5つの控室は無料! 楽屋(有料)も完備!



②

学会等にも便利。クローク完備!



①

参加者に対応。常設の受付カウンター!



発表会成功のポイントはお客様への対応にあり。へ中ホールの場合、入口からのお客様をまず、常設の受付カウンターで対応。遠方からの来場者が多い場合や冬の開催などでは、クロークで荷物やコートなどを預かることができる。一方、主催者にとっては頼もしいのは、控室が5つも無料で用意されていることだ。

中ホール 概要

- 客席 879席(最大1209席) *オーケストラピット時760席
- 面積 ステージ面積404㎡、間口20.2m×奥行20m×高さ10.8m
- 同時通訳設備 6カ国語対応(同時通訳室4、仮設通訳ブース2/有料)可
- 音響設備(利用料金内に含む) CDプレーヤー・カセットテープレコーダー・MDレコーダー・ワイヤレスマイク・有線マイク
- 映像設備 ハイビジョン対応プロジェクター(有料)
- 楽屋等 控室5(主催者控室、スタッフ控室、メークアップ室、1階控室、2階控室/無料)、楽屋9(有料)
- 機 構 吊り物バトン31本、東西バトン4本



ミュージカル



ファッションショー



講演会

施設及び付帯設備利用料金表

名 称			使用料(単位円)					全日 (9時～22時まで)
			午前 (9時～12時まで)	午後 (13時～17時まで)	夜間 (17時30分～22時まで)	午前～午後 (9時～17時まで)	午後～夜間 (13時～22時まで)	
中ホール 大地	入場料なし及び 1,000円以下	平 日	25,000	38,000	57,000	63,000	95,000	110,000
		土日休日	30,000	46,000	68,000	76,000	114,000	132,000
	入場料 1,001円～3,000円以下	平 日	34,000	51,000	76,000	85,000	127,000	146,000
		土日休日	41,000	61,000	91,000	102,000	152,000	176,000
	入場料3,001円～5,000円以下 営利目的の利用	平 日	42,000	63,000	95,000	105,000	158,000	182,000
		土日休日	51,000	76,000	114,000	127,000	190,000	220,000
	入場料 5,001円以上	平 日	51,000	76,000	114,000	127,000	190,000	220,000
		土日休日	63,000	95,000	143,000	158,000	238,000	275,000
ビデオプロジェクターセット		1台	1,580	2,110	2,370	3,690	4,480	6,060
演台(花台付)	W1200mm	1台	890	1,180	1,330	2,070	2,510	3,400
司会者台	W90mm	1台	640	860	960	1,500	1,820	2,460

- 商業宣伝、営業等を目的として使用する場合は、「入場料3,001円～5,000円以下」の区分を適用し、その他については、当該区分の額に100分の200を乗じた額とします。
- 練習、準備または撤去のために使用する場合は、「入場料なし」の区分の額に100分の50を乗じた額とします。

おしらせ

グランシップは、施設の定期点検のため、下記の期間全館休館となります。
施設使用にかかわる予約受付等の事務処理も休館中には行いませんので、皆様のご理解とご協力をお願いします。
(図書館コーナー、情報ラウンジ、チケットセンター、カフェ、レストランもお休みです。)

平成22年 4月20日(火)～21日(水)
5月25日(火)～27日(木)
6月21日(月)～24日(木)
7月12日(月)～15日(木)
8月23日(月)～26日(木)
9月 7日(火)～ 8日(水)
10月 4日(月)～ 7日(木)
11月 9日(火)～11日(木)
12月 6日(月)～ 9日(木)

ご利用についてのご案内

- 【申込受付】
午前9時～午後8時 ※開館時間/午前9時～午後10時
- 【申込方法】
電話、または当財団窓口にて。※受付は先着順となります。尚、予約受付を開始する月のお申し込みについては、事前に「抽選申し込み」を承っております。(詳細は、利用サービス課までお問い合わせ下さい。)

お申し込み・お問い合わせ

TEL 054(203)5713 FAX 054(203)6710
財団法人 静岡県文化財団 利用サービス課 〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 メールアドレス yoyaku@granship.or.jp
施設の空き状況は、ホームページでも検索OK! <http://www.granship.or.jp>

【申込受付時期&連続使用可能日数】

施設区分	受付開始日	連続使用可能日数
国際会議や全国規模のコンベンション	随時	
大ホール、中ホール	利用開始日 2年前の同月初日	14日
会議ホール、交流ホール、映像ホール	利用開始日 1年前の同月初日	7日
展示ギャラリー	利用開始日 1年前の同月初日	14日
会議室、リハーサル室、練習室、グランシップ広場	利用開始日 半年前の同月初日	7日



グランシップは全館禁煙となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

グランシップの運営にボランティアの立場で参加する「グランシップサポーター」が、それぞれの心意気や感想、体験談をレポートします。

SUPPORTER's VIEW

温かい心を感じる場所

第11期サポーター イベント業務担当 安野 絵美

早いもので、グランシップのイベントサポーターを始めて2年になります。

会社を退職し、失望感や虚無感に襲われていた時、サポーター募集のお知らせがふと目に留まりました。直感で「おもしろそう」と思い、自分を見失っている今、あえて避けた環境に飛び込むことで自分を追い込もうと思いました。恥ずかしいことに、私の応募はとも自己中心的な考えからでした。

この2年間、多くのイベントに参加させていただきました。その中で共通していることは、「たくさんの人と同じものを共有できる」ということです。終演後、お客様が「すごくよかった。また来ますね。」などと声を掛けてくださると本当に嬉しいです。その優しくて穏やかな笑顔が私の心を温かくしてくれます。同時に、自分もそういう気持ちになれる心を持つていることを確かめることができるのです。仲間や出演者の方、イベントに携わる全ての人の気持ちが一つになった時、その一人であることをとても幸せに感じます。

私にとって、「人の温かい心を感じる」ことができる場所」それがグランシップです。これからたくさんのお客様をおもてなしさせていただきます。

それが自己啓発に繋がるよう努力していきたいと思っています。



Report 048

READER'S VIEW

●チケットを郵送していただけなので遠方に居てもとても便利です。グランシップの会員になってから音楽が心の栄養と気付きました。これからの時間をとって鑑賞していきます。感謝!!
（榎原郡モリコさん）

●「北大路魯山人展」展示終了まであと一日しかない！今日しかという1/10に行ってきた。中略）研究心の強い人だと思いました。備前の大きな土瓶と手桶花器が一番気に入りました。とてもよかった展覧会でした。（静岡市テクテクさん）

●公演でのまぎりなどの案内のみなさんがいつもすてきだなと思っています。これからもよい公演を期待しています。
（静岡市のりっぺさん）

●毎号の「村松友視の文化漫遊」を楽しみにしています。私の住んでいる所の身近な話題としぞろい文章が好きです。
（静岡市市川玲子さん）

●若かりし頃（子どもの頃ですが）クラシックバレエをしていたものですから、やはりバレエの公演が楽しみです。今では8才の孫がやっておりますので二人で観るのが楽しみです。（三島市齋藤圭子さん）

●いつも見たいものばかりです。オーケストラがいいですね。できれば指揮者、世界の小澤を見たいです。（静岡市石田京子さん）

★グランシップおよび本誌「G」に関する「意見、感想、お問い合わせなど、皆さまからの便りをお待ちしています。なお、お寄せいただいたお便りは、本コーナーに転載させていただくこともあります。転載不可の方は、その旨明記の上、お送りください。

Editor's room.....

最近届いたうれしい話をご紹介します。1月に行われた「中学生のための音楽会」でオーケストラ初体験に感動した中学生の投書を中日新聞が3回も掲載してくださったのです。「生まれて初めて聴いたオーケストラは、一言で言えないくらいすごかったです。…音がピタッとやんで、息をスッと吸う音が聞こえ、またみんな同時に音が始まっていました。…私たちが合唱をやるけどあんなに息が合ったことはありません。」学校から送られてきたアンケートにも、金聖響さん指揮オーケストラ・アンサンブル金沢の演奏に「CDやテレビと大違い、鳥肌がたつほど感動した。」と書いてくれた生徒さんが大勢いました。「音楽はすごい！何もしていなくても幸せな気持ちになって笑顔になります。」「沢山の楽器の音がひとつにまとまってくれいいなるのはすごい！たくさん練習をして、みんなが心をひとつにしているから素晴らしい演奏になるのだ。」「オーケストラの人たちがそれぞれの道を頑張っているのを見て、自分も自分なりの道を見つけて進んで行きたいと思った。」

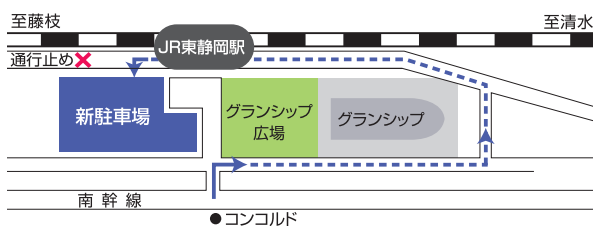
3月13日、グランシップ10周年の締めくくり金木犀5本をサポーターの皆さまと財団職員で古代東海道沿いの植え込みに記念植樹しました。金木犀の香りがグランシップの事業に込めた私たちの思いを、多くの皆さまに届けて欲しいと願いつつ…

グランシップ館長 田村 孝子

グランシップにお越しの際は、
混雑緩和のため、
公共交通機関をご利用ください。



●注意 平成22年2月11日より
が新駐車場になりました。



●ACCESS 東海道新幹線（ひかり）で東京から1時間、大阪から2時間。JR静岡駅下車。東海道本線でJR東静岡駅まで3分。東静岡駅南口に隣接。